診断報告書等に関する質問及び回答
京都市立学校耐震化PFI事業

NO.	資料名	学校名	棟	頁	章	節	細節	項目名	質問	回答
1	耐震第二次診断報告書	伏見住吉小	②-3	3-16	3	3-1	(3)	コンクリート圧縮強度試験	コンクリート強度が13.5N/mm ² 以下ですが補強計画には外付けの認定工法で提案されています。この認定工法は13.5N/mm ² 以上でないで使用出来ないのではないのでしょうか。	伏見住吉小②-3棟において、当該認定工法を用いた耐震補強計画について、第三者機関の判定を取得しています。
2	耐震第二次診断報告書	西ノ京中	①-1,2,3,4	3-19	3	3-1	(3)	コンクリート圧縮強度試験	通常階毎、工期毎で現況躯体コンクリート強度を判断するが、階毎で判断して下さる方がよいのでしょうか。	西ノ京中①-1～4棟において、耐震第二次診断について、第三者機関の判定を取得しています。
3	耐震第二次診断報告書	烏丸中	①-1,2,3	3-20	3	3-1	(3)	コンクリート圧縮強度試験	通常階毎、工期毎で現況躯体コンクリート強度を判断するが、階毎で判断して下さる方がよいのでしょうか。	烏丸中①-1～3棟において、耐震第二次診断について、第三者機関の判定を取得しています。
4	耐震第二次診断報告書	西ノ京中	①-1,2,3,4	316	5	(3)	7	補強計画	既存建物耐震改修工事仕様書(1) 3-7 スリット増設によると、梁天端100mmまでとなっています。その場合、土間を撤去しスリットを設けることになりませんが、そのような理解でよろしいでしょうか。積算、工期に大きく影響します。	土間は撤去せず、土間コンクリート天端から100mmまでとしてください。
5	耐震第二次診断報告書	西ノ京中	②					評価報告書	改修後のIs値が0.700でギリギリの値ですがゆとりがない場合一般的にはスリット設置だけでなく強度系の補強を行うことが必要だと思いますが必要ですか？	西ノ京中②棟において、耐震補強計画について、第三者機関の判定を取得しています。
6	耐震第二次診断報告書							耐震補強業務	市が入札参加者に貸与する耐震補強計画より補強構面数が増加してもよろしいのでしょうか。	補強構面数が増加することは不可ではありませんが、学校教育活動への影響を可能なかぎり低減した耐震化の実施を求めます。
7	耐震第二次診断報告書							コンクリート圧縮強度	建物によっては、コンクリート圧縮強度が低く、判定委員会での判定取得が難しいことも想定されますが、その場合は、判定不要と考えてもよろしいのでしょうか。	判定取得は必須です。